

地域包括支援センター

愛称とシンボルマーク決定!

包括支援センター運営協議会・地域密着型サービス運営協議会による厳正な審査のうえ、最優秀賞が決定しました。

愛称

最優秀賞

「ほっとあんしんネット」
福田有紗さん(男山美桜)

シンボルマーク

最優秀賞

福田有紗さん(男山美桜)



地域包括支援センターは、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護、福祉、健康、医療などの専門職員を配置し、総合的に支援をしていくための相談窓口です。

地域包括支援センターを多くの人が知っていただくため、広報やわた7月号で、親しみやすく、わかりやすい「愛称」と「シンボルマーク」を募集させていただきました。ご応募をいただきました。応募作品の中から、地域

市制施行35周年

昭和52年11月1日に、京都府下で11番目、全国で645番目に市制を施行し、この間、先人のたゆまない努力により着実に歩みを進めてこられました。35周年という年月は、個人に例えますと、それまでの歩みを基礎として、その後の人生を切り開く節目だと思います。

これまでの都市基盤の整備や石清水八幡宮の史跡指定などの取り組みと、関西の中心という地の利を生かして、まず、第4次八幡市総合計画後期基本計画の実現に向け、市民の皆さんとともに歩みを進めていかねばなりません。

これからも、皆さまのご協力、ご支援をよろしくお願ひします。

台風17号で

「流れ橋」流れる!



木津川の増水で橋脚が流れた「流れ橋」(上津屋)

10月1日深夜、台風17号による木津川の増水で上津屋橋(通称・流れ橋)の、橋板の一部が橋脚からはず

れて流れたため、通行禁止になっていました。「流れ橋」は、昭和28年3月に架設。長さは356

級といわれています。川の水位が橋面まで達すると、ワイヤロープでつながれた橋脚が、浮力により自然に外れて、いかだのように流れるという独特の構造をもっています。

昨年9月の台風12号で流され、今年4月に通行禁止が解除されたばかりでした。

平成24年秋季 全国火災予防運動

11月9日(金)~15日(木)

消すまでは
出ない行かない
離れない



(平成24年度全国統一防火標語)

住宅用火災警報器を 設置しましょう

設置しましょう

昨年6月から、すべての住宅に住宅用火災警報器(火災警報器)の設置が義務付けられています。

火災警報器は、火災で発生する煙や熱を感じし警報するため、火災の早期発見に効果絶大。初期消火や通報等の行動が早まり、火災の被害軽減につながります。

消火器の 不適正訪問販売に注意!

近隣市町で、新しい消火器を販売した際、古い消火器の廃棄処分代を高額に請求する訪問販売のトラブルが相次いでいます。

おかしいと感じたら安易に契約せず、はっきり断りましょう。
◆問い合わせ 消防本部予防課

◆問い合わせ 消防本部予防課

また、定期的にテストボタンを押して、警報器が正常に作動するか確認してください。

老人クラブが 大臣・知事表彰 を受賞

全国老人クラブ連合会創立50周年記念全国老人クラブ大会において、第二寿会(高本茂之会長)が厚生労働大臣表彰(優良老人クラブ)を受賞されました。また、第33回京都府老人クラブ大会において、吉井松里グリーンクラブ(吉川幾久雄会長)が、知事表彰(優良老人クラブ)を受賞されました。

離着陸時の騒音等にご理解をお願いします

10月から、京都府南部地域でドクターヘリの運航が始まりました。市内には、左記のとおり5カ所の離着陸場(ランデブーポイント)が合流する場所があります。

- 有都小学校グラウンド
- 美濃山小学校グラウンド
- 男山中学校グラウンド
- 男山第三中学校グラウンド

かわきた自然運動公園
ドクターヘリの離着陸時



ドクターヘリ 運航開始

3つの習慣

- 寝タバコは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
 - 寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、**防災製品**を使用する。
 - 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器**を設置する。
 - お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。お休み前にもう一度、火の元の点検をしましょう
- ◆問い合わせ 消防本部予防課

住宅火災

いのちを守る7つのポイント



火災・救急統計

消防本部 ☎981-4119

24年1月~9月累計 ()内9月分		昨年同期累計
火災出動	8件 (1件)	10件
火災以外の出動	144件 (16件)	107件
救急出動	2716件 (241件)	2707件
搬送人員	2564人 (231人)	2522人